

2017 年 10 月 槍・穂縦走

日程：10 月 6 日～10 月 9 日

山域：槍ヶ岳・穂高岳(槍ヶ岳～西穂高岳)

参加：S 藤 S 藤m 2 名

10 月 6 日 1 日目 天候：曇り後雨

新穂高温泉 07:00→11:00 槍平 11:10→16:00 槍ヶ岳肩の小屋(小屋泊)

滝谷出会い

鳥も超えないと唄われる滝谷を見上げる



昼過ぎから雨、大喰沢の登りで汗と雨によりすっかり体を濡らしてしまい、予定の幕営を止め肩の小屋に逃げ込む

10 月 7 日 2 日目 天候：雨

肩の小屋 08:00→南岳小屋 10:45→15:50 北穂高岳 16:00→16:20 南稜天場(幕営)

降る雨に気は重いが先は長い、穂先は穂高へ進もう

肩の小屋前槍の穂先はガスの中



槍の穂先



南岳へ

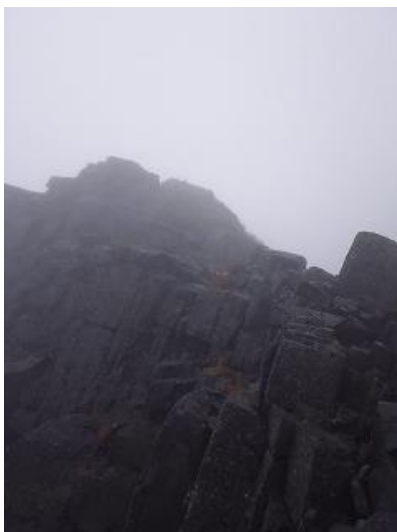


南岳



降りしきる雨に靴の中はグチャグチャと音がするほどずぶ濡れ、濡れて更に重量が嵩んだ
重荷を背負っての大キレット超え

大キレット



今年生まれの三兄弟？



やっとの思いで北穂高岳へ、濡れと重みに予定地の白出の科尔までは厳しい
いっそのこと北穂の小屋で・・

北穂高岳、背景は槍ヶ岳、の、はずが



心は揺れるも、結局小屋でビールを調達し、激しい雨の中、南陵天場に設営



10月8日 3日目 天候：晴れ

北穂高南陵（幕地 06：00）→09：30 白出の科尔 10：00→10：50 奥穂高岳 11：10→13：10
ジャンダルム 13：20→15：30 天狗の科尔（幕営）

テントを開けたとたん「ホー 見てみ、見てみー」 白んだ空、富士はじめ雲海に浮かぶ峰々が美しい、三日？目の正直に思わず、合掌礼拝

雲海に浮かぶ、甲斐駒、北岳、富士（5：45 a m） 北穂南陵天場より



清々しい気持ちでスタートするも、雨がしっかり浸み込んだ背中の中荷が堪える
奥穂に挑む人々で膨らみ始めた奥穂の小屋で水を調達したザックは更に肩に食い込む、まるで後から誰かに引っ張られるかの如くだ、果たして馬の瀬、ロバの耳、ジャンダルムは超えられるのだろうか。

涸沢岳 白出のコルから



奥穂高岳は大賑わい



ジャンダルム 奥穂から



ロバの耳



ジャンダルムへの登り



天を突くジャンダルム



ジャンダルムピーク



それでもなんとか、天狗のコルへ今日はここまで（最も昨日の遅れから、今日を予測して水を仕入れてきたのだが）、少し早めに切り上げたおかげで、シュラフ、シュラフカバー、雨具、靴、靴下、スパッツ、帽子、手袋、タオル、ザイル、シュリング、濡れた物すべてをテントの上とその周辺に並べ、大乾燥会、夕闇が迫るところには全てほぼ乾いてしまった。

テントの屋根はじめ、その周りはシュラフ、靴下、靴等の乾燥台と化すも、
今宵は快適なテント生活



10月9日 4日目 天候：晴れ

天狗のコル（幕営）05：50→天狗岳→間の岳 07：40→09：50 西穂高岳 10：00→独標 11：10→12：15 西穂西穂高山荘 12：40→13：50 西穂高登山口

すっかり乾いた荷物を背負うと、昨日のあの重さがまるで嘘のよう、そうだ水分をかついでいたんだ。

今日は楽勝とすっかり気を良くして、いざ天狗コルの登りへ、いきなりかぶり気味のクライミング、昨日の濡れた荷物ではとても登れなかったねと言いながら、クサリの助けを借りてそれでも、何とかやっこさ。

コルから見上げる天狗岳



間ノ岳



天狗岳、間ノ岳、赤石岳、長い上り下り繰り返し、ようやく西穂高岳へ着いた途端ほぼ全行程が終わったような錯覚に陥ってしまうほどだった。



独標



ヨレヨレ、ボロボロになりながらもなんとか千石平へ、上人様に合唱御礼

